

初発疑い患者対応訓練 実施内容シナリオ【全体版】

訓練

令和6年10月10日(木)

実施者	<p><訓練内容説明>感染症対策課 課長</p> <p><中部保健所></p> <p>総括、指示者…医監・部長・課長</p> <p>調査実施者…主任</p> <p>調整者…班長</p> <p>搬送補助者…主査(連絡調整)・主任(運転)</p> <p><島田市立総合医療センター>ICN 他</p> <p><環境衛生科学研究所>微生物部ウイルス班 主査 他</p>
実施時刻	<p>(1)～(8)… 13:00～13:40(予定)</p> <p>(9)～(12)… 14:15～15:00(予定)</p> <p>(13)～(16)… 15:35～16:05(予定)</p>
実施場所	<p>(1)～(8)…藤枝総合庁舎別館2階第一会議室(自宅・保健所執務室仮想)</p> <p>(9)～(12)…島田市立総合医療センター感染症病棟</p> <p>(13)～(16)…環境衛生科学研究所4階</p>
人物想定	<p>ア 氏名</p> <p>静岡 太郎氏(A氏)</p> <p>イ 年齢・性別</p> <p>43歳・男性</p> <p>ウ 居住地</p> <p>藤枝市瀬戸新屋362-1 保健マンション201号</p> <p>エ 家族構成</p> <p>配偶者(静岡 花子38歳・会社員(育休中))</p> <p>長男(静岡 次郎2歳・未就園)</p> <p>オ 職業</p> <p>自動車関連会社勤務海外営業部所属</p> <p>カ 基礎疾患等</p> <p>糖尿病・高脂血症・喫煙歴(10本/日)あり</p>
行動想定	<p>ア 日本帰国まで</p> <p>9/16(月)～10/8(火):仕事でX国に滞在</p> <p>イ 入国後</p> <p>10/8(火)…静岡空港到着。空港から自分で運転して自家用車で自宅へ帰宅。</p> <p>10/9(水)、10/10(木)…出勤なし</p> <p>10/9(水)…母と実家の玄関先(外)で3分程度会話</p> <p>ウ 現地での接触</p> <p>約3週間の滞在中、平日はホテルと現地工場を現地法人の車で往復。</p> <p>現地法人の職員と何度か会食あり。</p> <p>『新型インフルエンザ』と診断された人は身近にはいなかった。</p> <p>現地滞在中、マスクはしていない。</p>

<p>体調想定</p>	<p>ア 日本帰国まで 現地では体調不良なし。 日本入国時（10/8）の検疫の健康確認では体温 36.0℃、発熱等身体症状なし。</p> <p>イ 昨日（10/9）の状況 発熱等身体症状なし</p> <p>ウ 本日（10/10）の状況 朝8時の検温では体温 36.8℃。昼前から体のだるさを感じ、12時に検温したところ、体温 38.5℃。 現在の症状は、発熱・倦怠感・目の充血</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族との接触状況 10/8（火）に帰国後から寝食を共にしている。 ○ 家族の健康状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 妻、長男ともに体調不良なし。 ・ 妻は育休中、長男も未就園のため、A氏帰国後はA氏以外の人物との接触はない。 ○ 保健所との連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10/9（水）に健康監視対象として保健所から電話し、体調確認済み。 ・ 10/10（木）以降は体調に変化があった場合にA氏から保健所あて電話することとなっていた。
<p>流れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> （1）健康監視対象者からの電話を受電 . . . P 4 （2）積極的疫学調査の実施 . . . P 4 （3）島田市立総合医療センターへ受入要請 . . . P 5 （4）島田市立総合医療センターから受入可の連絡を受電 . . . P 6 （5）搬送準備 . . . P 7 （6）感染症管理センター・環境衛生科学研究所へ状況伝達・検査依頼 . . P 8 （7）疑い患者宅に車両到着・乗車 . . . P 9 （8）島田市立総合医療センターに向けて出発 . . . P 10 （9）島田市立総合医療センターに到着・患者受入 . . . P 11 （10）保健所職員からの申し送り . . . P 12 （11）検体受渡し（病院職員→保健所職員） . . . P 13 （12）検体搬送開始連絡の受電 . . . P 13 （13）検体の受渡し（保健所職員→環衛研） . . . P 14 （14）検査手順の確認 . . . P 14 （15）検査結果の伝達・受電（環衛研→保健所） . . . P 15 （16）検査結果の伝達・受電（保健所→病院・感染症管理センター） . . P 16

※説明①（課長）

ただいまから、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく『初発疑い患者対応訓練』を開始します。

お忙しい中、御参加いただきありがとうございます。

視察者の皆様には、アンケートを配布させていただいております。お気づきの点を記載していただき、終了時にアンケートの御提出をお願いします。

まず始めに本日の訓練想定を御説明します。

9月下旬より、X国では重篤な呼吸器症状の患者が多数発生し、10/1に検体ゲノム解析により牛由来のインフルエンザウイルス（H5N1）が検出されました。

それを受け、WHOが10/4に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（^{フェイク}PHEIC）」を宣言。

日本においても、10/6に厚生労働大臣が『新型インフルエンザ』の発生を公表しました。

また、10/7には他都道府県の検疫所において、国内初の患者も認められています。

そのような中、本日、10/8にX国から帰国した方から体調不良を呈したというお電話が中部保健所に入ります。

この方については、帰国時の検疫所では体調不良はありませんでしたが、X国からの帰国者であるため、検疫所から居住地の管轄保健所である中部保健所に健康監視依頼がありました。

それを受け、中部保健所では10/9に対象者にお電話し、体調を確認しています。10/9時点では体調不良は確認されませんでした。

保健師からは体調不良を生じた場合は、定時の保健所からの連絡を待たずに自ら保健所へ電話するようにと指示していました。

そうしたところ、今、その対象者から保健所までお電話が入ったという場面からスタートします。

それでは、訓練を開始してください。

(1) 健康監視対象者からの電話を受電

HC

実施時刻	13:04 予定
発信者	静岡 太郎氏 ※感染症対策課 主任
受信者	中部保健所 主任
連絡内容	患者：昨日、電話でお話した静岡 太郎です。 X国から帰国して、何か体調に変化があったら保健所に電話するように言われていましたが、今日の昼前くらいから体がだるくて、今熱を測ったら38.5℃ありました。 どうしたら良いでしょうか。
方法	※実際に電話でやりとり。 訓練では発信者・受信者双方でマイクを使用。(2)も同様

(2) 積極的疫学調査の実施

HC

実施時刻	13:05 予定
発信者	静岡 太郎氏 ※感染症対策課 主任
受信者	中部保健所 主任
連絡内容	(1)からの続き HC：御連絡ありがとうございます。熱が高いようですが、今はお話しで大丈夫ですか？少しだけお時間ちょうだいしてもよろしいでしょうか？ 患者：体がだるいだけなので、お話するのは大丈夫です。 HC：ありがとうございます。『静岡』さんも御承知おきのとおり、今X国では新型インフルエンザが流行っており、X国から帰国された方で体調を崩された方は専門の病院に受診していただく必要があります。 受診に際して、必要な情報がありますので一つずつお聞きしていきます。途中で話するのがしんどいようでしたら、遠慮なく申し出てください。 ＜積極的疫学調査を実施＞10分ほど積極的疫学調査を実施

※説明②（課長）

このように対象者の体調を気かけながら、保健師は積極的疫学調査を実施します。積極的疫学調査には大きく2つの目的があります。

一つ目は『感染源調査』。対象者がどこから感染したのかを探るため、新型インフルエンザの場合、発症日7日前からの行動をお聞きします。

二つ目は『接触者調査』です。対象者から感染させる可能性がある方がいるのかどうかを探るため、新型インフルエンザの場合は、発症1日前から現在までの行動をお聞きし、接触者を探します。また重症化リスクのある集団と接する機会があったか等も確認します。

新型インフルエンザ流行初期については、同居家族や濃厚接触者は抗インフルエンザ薬の予防投与対象者となりますので、保健所長等医師より必要性を説明し、同意を得られた者には予防投与を実施します。

積極的疫学調査と平行して入院受入先病院の調整を行います。

初発疑い患者ですので、まずは管内の『感染症指定医療機関』を優先して要請します。次の場面は、島田市立総合医療センターへの要請についての場面となります。

(3) 島田市立総合医療センターへ受入要請

HC

病院

実施時刻	13:18 予定
発信者	中部保健所 班長
受信者	島田市立総合医療センター ICN
連絡内容	<p>※課長アナウンス後</p> <p>①課長、部長、医監への報告(13:18)</p> <p>班長：X国から帰国し、健康監視対象の方が帰国後2日目に発熱したようです。管内の感染症指定医療機関の島田市立総合医療センターへ受入を要請してもよろしいでしょうか？</p> <p>医監：お願いします</p> <p>②島田市立総合医療センター ICN へ受入要請(13:20)</p> <p>※スピーカーフォンにして相手の声も聞こえるようにする</p> <p>中部 HC：(これは訓練のお電話です)</p> <p>10/8に新型インフルエンザの流行国であるX国から帰国した方ですが、帰国後2日経った今日から発熱したようです。43歳男性、現在の症状は発熱・倦怠感・目の充血です。</p> <p>島田市立総合医療センターで受入可能でしょうか？</p> <p>島田 MC：院内で調整し、折返しお電話します。</p> <p>中部 HC：折返しのお電話は『 』にお願いします。</p>

(4) 島田市立総合医療センターから受入可の連絡を受電 **HC** **病院**

実施時刻	13:25 予定
発信者	島田市立総合医療センター ICN
受信者	中部保健所 班長 ※スピーカーフォンにして相手の声も聞こえるようにする
連絡内容	【島田市立総合医療センター→中部保健所】 島田 MC：(これは訓練のお電話です) 先ほど受入要請があった方について、受入可能です。自宅を出る前に再度お電話ください。感染症専門入り口に車をつけてください。 班長 : 承知しました。 ※班長から医監・部長・課長へ報告

※説明③ (課長)

次の場面について、御説明します。

搬送先が決まり、積極的疫学調査がそろそろ終了するというタイミングで保健所では感染症患者搬送用車両の準備を始めます。

また、新型インフルエンザの流行初期の今回の段階では、検査機関は本県内では、県環境衛生科学研究所及び政令市の地方衛生検査所のみとなります。

そのため、今後新型インフルエンザの患者が疑われた場合、検査依頼の可能性があるので、保健所は早めに環境衛生科学研究所に検査準備依頼を行います。

同時に感染症管理センターにも『疑い患者』の発生について一報を入れます。

(5) 搬送準備

HC

実施時刻	13:26 予定
実施者	主査・主任・主任（主任は調査 13:20 で終了）
実施内容	<p>※（4）島田市立総合医療センターからの連絡後</p> <p>①搬送車輛の準備・PPE 着用の指示(13:26)</p> <p>課長：搬送車輛の準備と个人防护具の着用をお願いします。 <u>新型インフルエンザの感染性の強さがまだわからないので、患者と接する主査と主任はタイベックのフル PPE 着用を。主任は運転をお願いするので、長袖プラスチックガウンの着用をお願いします。</u></p> <p>主査：承知しました</p> <p>②搬送の準備（13:28～13:40）</p> <ul style="list-style-type: none">・車輛の準備・个人防护具の準備、着用 <p>運転手：ガウン、サージカルマスク、手袋 （患者に接する場合はゴーグルも）</p> <p>患者付添保健師：フル PPE（タイベックス、N-95、ゴーグル、手袋）</p>

※説明④（課長）

今、課長から搬送車輛の準備指示及び PPE 着用の指示がありました。

感染経路や感染の強さがはっきりするまでは、患者と直接接する可能性のある職員はフル PPE を着用します。

運転のみを行う職員は、フル PPE での運転は危険も伴うため、長袖ガウンを着用します。

(6) 感染症管理センター・環境衛生科学研究所へ状況伝達・検査依頼

HC 環衛研 センター

実施時刻	13:30 予定
発信者	中部保健所 班長 ※スピーカーフォンにして相手の声も聞こえるようにする
受信者	①感染症管理センター 課長代理 ②環境衛生科学研究所 主査
連絡内容	<p>【①中部保健所→感染症管理センター】(13:30)</p> <p>中部 HC : (これは訓練のお電話です)</p> <p>10/8 に新型インフルエンザの流行国である X 国から帰国した方ですが、帰国後 2 日経った今日から発熱したようです。43 歳男性、現在の症状は発熱・倦怠感・目の充血です。今から島田市立総合医療センターへ搬送します。</p> <p>感染症管理センター : 了解しました。また進捗を教えてください。</p> <p>【②中部保健所→環境衛生科学研究所】(13:32)</p> <p>中部 HC : (これは訓練のお電話です)</p> <p>10/8 に新型インフルエンザの流行国である X 国から帰国した方ですが、帰国後 2 日経った今日から発熱したようです。43 歳男性、現在の症状は発熱・倦怠感・目の充血です。今から島田市立総合医療センターへ搬送します。その後、検体を搬送しますので受入準備をお願いします。</p> <p>環衛研 : 了解しました。また病院を出る前に御連絡ください。</p>

※説明⑤ (課長)

これから島田市立総合医療センターへの搬送にうつります。

この先は、移動も伴います。

お手洗いをご利用になりたい方はこの部屋の向かい側にありますのでご利用ください。

訓練再開は 13:40、1 階入り口に集合をお願いいたします。』

(7) 疑い患者宅に車両到着・乗車

HC

実施時刻	13:40 予定
発信者	中部保健所 主査
受信者	静岡 太郎氏
実施内容	<p>①搬送車両到着の連絡 HC：中部保健所 です。 今、御自宅の前に到着しましたので降りてきていただき、<u>助手席側の後部座席ドア</u>から乗車していただけますか。 お手元にマスクがありましたら、してきてください。 患者：承知しました。</p> <p>②乗車</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>助手席側の後部座席ドア</u>から乗車してもらい、ストレッチャーに自分で横になってもらう・ストレッチャー上で患者をアイソレーションで囲む・適宜、患者に対し声かけを行う・手指が汚染した場合は、外手袋のみ替える

※説明⑥（課長）

こちらは県が所有する感染症搬送用車両です。

患者には、ストレッチャーに乗っていただき、アイソレーションで覆い搬送します。

実施時刻	13:45 予定
発信者	中部保健所 主査
受信者	島田市立総合医療センター ICN
実施内容	<p>【中部保健所 主査→島田市立総合医療センター】</p> <p>中部 HC：(これは訓練のお電話です)</p> <p>今から島田市立総合医療センターに向けて出発します。</p> <p>到着予定時刻は〇〇：〇〇頃です。</p> <p>車種は、ナンバーは『』です。</p> <p>連絡先電話番号は になります。</p> <p>検体については、環境衛生科学研究所で PCR 検査をします</p> <p>ので咽頭ぬぐい液と結膜ぬぐい液の採取準備をお願いします。</p> <p>島田 MC：承知しました。到着したら駐車場 B に停めていただき、</p> <p>また御連絡ください。</p>

※説明⑦ (課長)

視察者の皆様には受付でグループ名を伝えております。

今からそれぞれのグループ誘導スタッフが誘導しますので、それについてマイクロバスに乗車をお願いします。

※説明⑧（課長）

島田市立総合医療センターは『第二種感染症指定医療機関』です。

感染症病棟への入り口は一般の入り口とは異なり、こちらとなります。

感染症搬送用車両が到着しますと、患者の人権を守るため、周囲をシートで覆い、見えないようにします。今から病棟まで搬送しますので、視察者の方は各グループ誘導員の指示に従って下さい。

報道機関は規制の外からの撮影になります。御協力をお願いします。

(9) 島田市立総合医療センターに到着・患者受入



実施時刻	14:15 予定(14:15~14:45)
発信者	中部保健所 主査
受信者	島田市立総合医療センター ICN
実施内容	<p>【中部保健所 主査→島田市立総合医療センター】</p> <p>中部 HC：(これは訓練のお電話です)</p> <p>現在、島田市立総合医療センター駐車場 B に到着しました。</p> <p>島田 MC：承知しました。</p> <p>感染症病棟専用入り口まで車を進めてください。</p> <p>《患者受入・病棟搬入》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 車をバックで停める ② 車が到着したところで動線をブルーシートで覆う ③ 動線がブルーシートで覆われたことを確認して、主査がトランクを開ける ④ 主査が患者足側、主任が患者頭側につき、ストレッチャーを下ろす（移動中も患者の顔色を伺いながら、声かけを行う） ⑤ 足先が進行方向になるようにストレッチャーを移動（エレベーター→2階感染症病床） ⑥ 病棟までストレッチャーにて移動 ⑦ 病室についたら、患者に自分でベッドにうつってもらう ⑧ 保健所職員は患者に挨拶して、退室 ⑨ 保健所職員は前室にて、ストレッチャーのアルコール消毒・PPE の脱衣、手指消毒を行い、前室から出る。 ⑩ （医師は患者から検体を採取） ⑪ （採取した検体を検査科が検体搬送用の容器に梱包する）

※説明⑨（課長） 拡声器

島田市立総合医療センターは第二種感染症指定医療機関として専用病床を6床確保しております。

皆様が見ていただいたとおり、一般の患者様との動線は分けられております。

搬送された患者は陰圧管理された病室で、バイタル等を確認した後、『咽頭ぬぐい液・結膜ぬぐい液』の採取を行います。本日は実施したと想定して訓練を進めます。

保健所職員は、患者を病室まで運んだ後は、個人防護具を脱ぎ、ナースステーションにて申し送りを行います。

(10) 保健所職員からの申し送り HC 病院

実施時刻	14:45 予定(14:45~14:53)
発信者	中部保健所 主査、主任
受信者	島田市立総合医療センター 感染症病棟看護師
実施内容	※保健所職員は、消毒後のストレッチャーを廊下に置き、 ナースステーションに入室。 入室時にサージカルマスク・手袋（手袋は検体受け取り時のみ着用） を病院側からいただく。 中部 HC：申し送りをお願いします。 （積極的疫学調査の内容のうち、氏名、年齢、性別などの基本情報、基礎疾患、現在の症状等を伝達） 島田 MC：＜申し送りを受ける＞承知しました。

※説明⑩（課長）

院内で採取した検体は、専用の搬送用ジェラルミンケースに入れ、環境衛生科学研究所まで搬送します。

(11) 検体受渡し (病院職員→保健所職員) HC 病院

実施時刻	14:55 予定
実施者	島田市立総合医療センター
実施内容	・ 申し送り終了後、保健所職員は病院職員から検体の入った搬送用のジェラルミンケースを受け取る (受け取る保健所職員は手袋要)

(12) 検体搬送開始連絡の受電 HC 環衛研

実施時刻	15:00 予定
発信者	中部保健所 主査 ※ナースステーションを出たところで電話
受信者	環境衛生科学研究所 主査
実施内容	【中部保健所 主査 →環境衛生科学研究所 主査】 拡声器 中部 HC : (これは訓練のお電話です) 新型インフルエンザ疑いの患者から咽頭ぬぐい液・結膜ぬぐい液の採取が終わりましたので、検査をお願いします。 今から島田市立総合医療センターを出発します。 環衛研への到着予定時刻は〇〇:〇〇頃です。 環衛研 : 承知しました。 到着したら、1階の入り口に声をかけてください。

※説明⑪ (課長)

拡声器

それではここから環境衛生科学研究所へ向けて出発しますので、視察者の皆様にはそれぞれのグループ誘導スタッフが誘導に従ってマイクロバスに乗車をお願いします。

報道機関の皆様は、1階にて感染症管理センター長後藤より、本日の訓練について質問等をお受けいたしますので、そちらにご移動ください。

※説明②（課長）（環衛研入り口あたりで）

環境衛生科学研究所では、1階受付で声をかけた後、4階検体受渡室に検体を運びます。

詳細は後ほど研究所職員より御説明します。見学できる人数に限りがありますので、まずはA・Bグループの方は4階検体受渡室に御案内します。

C・Dグループの方は4階会議室にて研究所職員より検査の流れ等を御説明します。

(13) 検体の受渡し（保健所職員→環衛研）

HC

環衛研

実施時刻	15:30 予定
実施者	中部保健所 主査→環境衛生科学研究所職員
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 保健所職員は研究所1階受付に声をかける。・ 1階受付で4階検体受渡室を案内されるため、エレベーターで4階まで上がる。・ 4階検体受渡室にて、環境衛生科学研究所職員に検体を受け渡す・ 環境衛生科学研究所職員が内容を確認する (双方職員はサージカルマスク・手袋要)

※検体受渡室に大人数入らないため(13)の場面は2回実施する
(4階検体受渡室での受渡し場面のみ)

視察者のグループをAB・CDに分け、ABが『検体の受渡し』を視察している間、CDには環境衛生科学研究所職員から検査体制等の説明を聞く。

その後、視察者を交代し、CDが『検体の受渡し』を視察、ABが環境衛生科学研究所職員から検査体制等の説明を聞く。

(14) 検査手順の確認

環衛研

実施時刻	(15:40 予定)
実施者	環境衛生科学研究所職員
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 検体の取扱や検査手順を確認(検査は仮想で実施したこととする)

※説明⑬（課長）

拡声器

環境衛生科学研究所では、当初は、検体処理からリアルタイム RT-PCR による結果確認ができるまでに 4.5 時間要します。

本日の訓練では、時間を省略し、検査結果が出たという形で進めます。

結果は、環境衛生科学研究所から中部保健所にまず伝えられます。

そして、中部保健所から入院先の島田市立総合医療センター及び感染症管理センターへ伝達されます。

(15) 検査結果の伝達・受電（環衛研→保健所）

HC

環衛研

実施時刻	16:00 予定
発信者	環境衛生科学研究所 主査
受信者	中部保健所 班長 ※スピーカーフォンにして相手の声も聞こえるようにする ※環境衛生科学研究所内のスペースを借り、保健所の執務室に見立てて受電する
連絡内容	【環境衛生科学研究所→中部保健所】 環衛研：（これは訓練のお電話です） 先ほどの『静岡太郎』氏の PCR 検査結果についてですが、 新型インフルエンザ H5N1 陽性でした。 中部 HC：承知しました。ありがとうございます。

(16) 検査結果の伝達・受電 (保健所→病院・感染症管理センター)

HC

環衛研

センター

実施時刻	16:03 予定
発信者	中部保健所 班長 ※スピーカーフォンにして相手の声も聞こえるようにする ※環境衛生科学研究所内のスペースを借り、保健所の執務室に見立てて受電する
受信者	①島田市立総合医療センターICN ②感染症管理センター 課長代理
連絡内容	【①中部保健所→島田市立総合医療センター】(16:03) 中部 HC:(これは訓練のお電話です) 先ほどはありがとうございました。 『静岡太郎』氏ですが、環境衛生科学研究所での検査の結果、 新型インフルエンザ H5N1 陽性でした。 島田 MC:了解しました。 【②中部保健所→感染症管理センター】(16:05) 中部 HC:(これは訓練のお電話です) 先ほど御連絡したX国から帰国した43歳男性ですが、 島田市立総合医療センターへ入院となりました。 環境衛生科学研究所での検査の結果、新型インフルエンザ H5N1 陽性です。 感染症管理センター:了解しました。 報道提供についてはまた追って御連絡します。

※説明⑭ (課長)

以上をもちまして、本日の訓練項目が終了となります。
訓練講評を行いますので、皆様は、会議室にお願いします。